

様式13

会派視察研修計画書

令和5年2月24日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ

代表者名 鈴木みのり

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	小池友妃子	
日時	令和5年3月17日（金）	
視察先	埼玉県さいたま市	
研修内容	①SDGs未来都市計画について	
日程	【視察先到着時間】 3/17 10時から11時30分 さいたま市役所視察	
交通手段	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関利用 乗降車駅名（ ）	<input type="checkbox"/> 自家用車利用 _____ 台 所有者名（ ）

（議会事務局記入）

旅費の額	(内 訳)
円	

様式 1 4

会派視察研修報告書

令和 5年 3月19日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ

代表者名 鈴木 みのり

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 1人 分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	小池友妃子
日 時	令和 5年 3月17日（金）
視 察 先	埼玉県さいたま市
研 修 内 容	SDG s 未来都市計画について
視察先面会者 又は講師名等	さいたま市都市戦略本部都市経営戦略部
備 考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

会派視察研修報告書

令和5年3月19日

議員氏名 小池友妃子

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和5年3月17日（金）
- 2 視察先 埼玉県さいたま市
- 3 視察の種類 会派視察（みらいクラブ）
- 4 視察の成果等

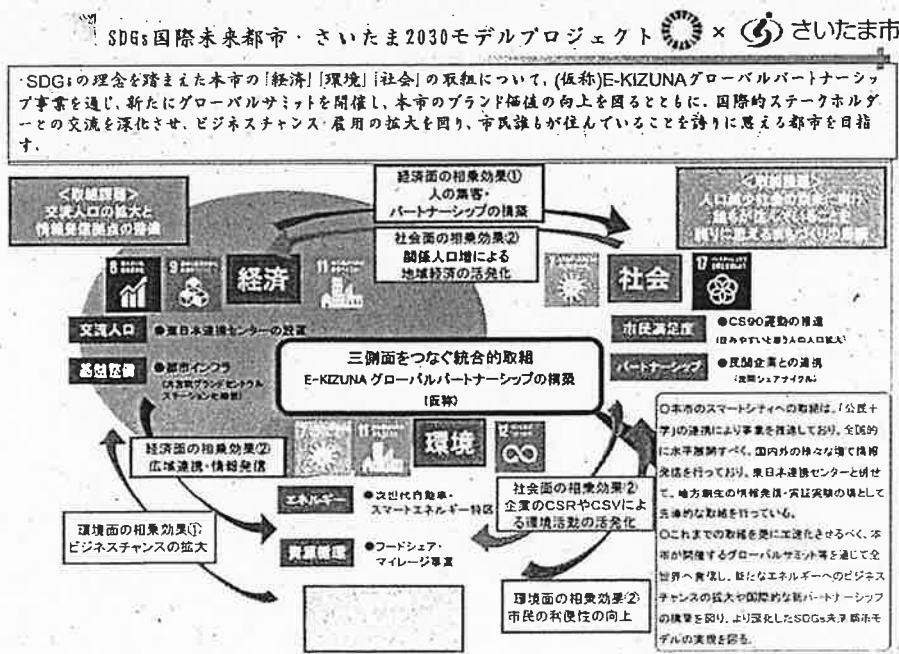
「SDGs 未来都市計画について」（埼玉県さいたま市）

(1) 第3回全国市区・SDGs 先進度調査（日本経済新聞社）

令和3年、4年総合第1位

(2) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるSDGsの位置づけ

SDGsの達成に向けた取り組みを行っている都道府県及び市区町村の割合
2020年度39.7%⇒2024年度60%へ



(3) SDG s 未来都市計画策定からこれまでの取り組みについて

①さいたま市のSDG s の普及系啓発。

さいたま市民のSDG s 認知度 22.4% (R1) ⇒82.4% (R4)

※日本のSDG s 認知度 (令和1年) 16%

※SDG s を意識した行動をしていないと答えた人の割合42.8%

⇒今後はターゲットを絞り普及・啓発と行動変容を促す取り組みが必要



②予算がなくてもできることから

- ・ロゴマーク・チラシ等の作成
- ・イベントへの出展示
- ・講演等による周知

③経済面における主な取り組み

東日本連携により新たな「ヒト・モノ・情報」の流れを創出

新幹線を軸に市域・県域を越えた広域連携を実施し、これまでになかった「ヒト・モノ・情報」の新たな流れの創出を目指す。

④環境面における主な取り組み

- ・食品ロス削減の取り組み
- ・ゼロカーボンシティの推進
- ・さいたま市地球温暖化対策実行計画
- ・次世代自動車・スマートエネルギー特区

⑤社会面における主な取り組み

- ・シェア型マルチモビリティの推進 (民間との連携)
- ・CS90+運動 (R4度は「すみやすい」が87.%(過去最高))

⑥さいたま市SDG s 企業認証制度

SDG s の理念を尊重し、経済・社会・環境の3つの分野を意識した経営活動を推進する市内企業を令和3年度から認証。(現在164社を認証)

⑦CS・SDG s パートナーズ制度の創設 (現在443者)

⑧ステークホルダーとの連携

- ・学校と民間が連携した出前講座
- ・公益財団法人と民間が連携し、SDG s 推進自動販売機の売上げの一部を「さいたま市ふれあい福祉基金」に寄付。

(4) 2030年に向けての取り組み

- #### ①総合振興計画への位置付け⇒全ての市民が「住みやすい」「住み続けたい」と感じ、持続可能なまちづくりに向けて各分野の施策を推進

【視察を終えて】

2030年のさいたま市のあるべき姿として、全ての市民が「住みやすい」「住み続けたい」と感じ、自らが暮らすまちに誇りと愛着が持てるよう、各分野の施策を積極推進しつづけています。SDGs認知度が令和4年度82.4%までできているのがまさにその効果であると感じました。

特に碧南市もやっと令和5年2月13日にゼロカーボンシティを表明し2030年までに46%削減を提言しました。しかし、そこに取り組むべき施策はこれからです。

例えば、さいたま市で環境面での取り組みで行っている3つのプロジェクトである①ハイパーエネルギーステーションの普及②スマートホーム・コミュニティの普及③低炭素型パーソナルモビリティの普及なども碧南市でとりいれることで効果が期待できるのかなど調査研究し、カタチだけではなく取り組みを早急にしていく必要があると感じました。

